

シリーズ：子どもの権利

せんなん子ども会議フィールドワーク

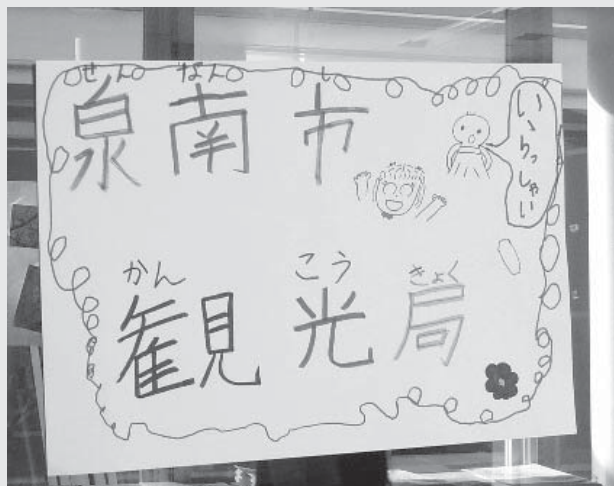
NO.13

～人と防災未来センターと宝塚市立大型児童センターで学んだこと～

せんなん子ども会議では、子ども防災会議を経験し、子どもの目線から地震や津波、避難生活について考えてきました。そこで12月にフィールドワークとして神戸市の「人と防災未来センター」に行ってきました。子どもたちは、1.17のシアターで「5時46分の衝撃」に驚き、震災の体験談や、復興への道のりなどを学習しました。「本当の地震の怖さを知った気がしました。今後このような事が起きないように勉強したいと思います。」「被災地の人にはこんな経験をしていたんだなと心にしみました。」などの感想をよせていました。

午後からは、宝塚市立大型児童センターで行われている「ミニ・たからづか」に参加させていただきました。これは、ドイツで行われている「ミニ・ミュンヘン」から学んだそうです。「ミニ・ミュンヘン」とは、子どもだけが運営する「小さな都市」のことで、8月の夏休み期間に誕生する仮設都市で、ドイツでは20年の歴史があります。子どもたちがさまざまな職業を選び、働くことを学びます。それを模した「ミニ・たからづか」は今年で8回目の取り組みで、これまでもいろいろな工夫を積み重ねてきたそうです。今回は市役所、警察、銀行、放送局、職業案内所その他、アクセサリー、花屋などのお店が20あまりありました。また、泉南市の子どもたちを受け入れるために、一部屋を「泉南市観光局」として設定してくださいました。泉南市観光局では、子どもた

ちがつくった子どもの権利に関するDVDを上映し、パンフレットを配布しました。「たくさんのお店で働いて、お金（手作り）をもらって、みんな自分でしているのですごいと思った。」「いろんな仕事が体験できて、楽しそうだった。」と子どもたちも満足して帰ってきました。



【問合せ】泉南市子どもの権利に関する条例事務局
(人権教育課 ☎ 483-3672 / FAX483-7306 /
e-mail:jinkenkyouiku@city.sennan.lg.jp)